

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2004-135947

(43)Date of publication of application : 13.05.2004

(51)Int.Cl.

A45D 33/00
B65D 51/24

(21)Application number : 2002-304682

(71)Applicant : YOSHIDA INDUSTRY CO LTD

(22)Date of filing : 18.10.2002

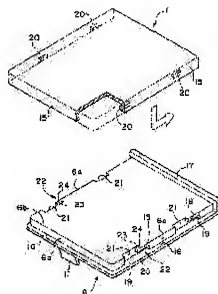
(72)Inventor : YUZUHARA YUKITOMO

(54) COSMETIC CONTAINER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a cosmetic container capable of meeting a request to prevent a decorated part from being partly peeled off or falling off a container body or a lid body, and capable of enhancing the flexibility to allow a purchaser to select the outer appearance as the purchaser likes.

SOLUTION: The cosmetic container comprises the container body and the lid body 6 for opening/closing the container body. The cosmetic container also has an interchangeable cover 7 replaceably mounted to cover the lid body 6, a slide engagement part consisting of a recess 19 and a projection 20 mounted between the lid body 6 and the interchangeable cover 7 to slidably engage the lid body 6 and the interchangeable cover 7, and a lock part consisting of a lock projection 22 mounted between the lid body 6 and the interchangeable cover 7 for locking the lid body and the interchangeable cover detachably in the sliding direction of the interchangeable cover 7 to hold the interchangeable cover 7 to the lid body 6.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

28.09.2005

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of

rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

JP 2004-135947 A 2004.5.13

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-135947

(P2004-135947A)

(43) 公開日 平成16年5月13日(2004.5.13)

(51) Int. Cl.⁷

F1

テーマコード (寄号)

A45D 33/00

A45D 33/00 650A

3E084

B65D 51/24

A45D 33/00 610A

B65D 51/24 D

審査請求 未請求 請求項の枚数 3 O L (金 7 頁)

(21) 出願番号

特願2002-304682(P2002-304682)

(71) 出願人

000160223

(22) 出願日

平成14年10月18日(2002.10.18)

吉田工業株式会社

東京都豊田区立花5丁目29番10号

(74) 代理人

100094042

弁理士 鈴木 知

(74) 代理人

100071283

弁理士 一色 悦晴

(72) 発明者

植原 幸雄

東京都豊田区立花5丁目29番10号 吉

田工業株式会社内

Fターム (寄号)

3B084 A006 A014 A024 A000 B002

C003 C003 D003 D013 D018

D003 F006 F004 G006 G006

JA19

(54) 【発明の名称】化粧料容器

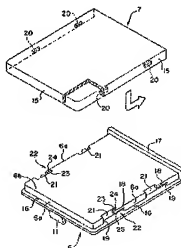
(57) 【要約】

【課題】加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また転落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な化粧料容器を提供する。

【解決手段】容器本体とこれを開閉する蓋体6とを有する化粧料容器において、蓋体6にこれを覆って交換可能に装着される交換用カバー7と、蓋体6と交換用カバー7との間に設けられ、蓋体6に交換用カバー7をスライド自在に係合させる凹部19と凸部21からなるスライド係合部と、蓋体6と交換用カバー7との間に設けられ、当該蓋体6に交換用カバー7を保持させるために、これらの両者を交換用カバー7のスライド方向に係合自在に係止する係止突起22からなる係止部とを備えた。

【選択図】

図2



(2)

JP 2004-135947 A 2004.5.13

【特許請求の範囲】

【請求項1】

容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、これらを覆って交換可能に装着される交換用カバーと、上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、これら蓋体もしくは容器本体に該交換用カバーをスライド自在に係合させるスライド係合部と、上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、当該蓋体もしくは容器本体に該交換用カバーを保持させるために、これら両者を該交換用カバーのスライド方向に係脱自在に係止する係止部とを備えたことを特徴とする化粧料容器。

10

【請求項2】

前記スライド係合部が、前記蓋体もしくは前記容器本体および前記交換用カバーのいずれか一方にスライド方向に沿って設けられた凹部と、いずれか他方に設けられて該凹部にスライド自在に挿入される凸部とを備え、前記係止部が、上記凹部内に弾性変形自在に設けられて上記凸部に係脱自在に係合する係止突起であることを特徴とする請求項1に記載の化粧料容器。

【請求項3】

前記凹部および前記凸部が、前記交換用カバーのスライド方向の適宜位置に設けられるとともに、上記凹部にはこれに上記凸部を挿入するための切り欠き部が設けられていることを特徴とする請求項2に記載の化粧料容器。

20

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な化粧料容器に関する。

【0002】

【従来の技術】

一般に化粧料容器は、化粧料を収納する容器本体と、この容器本体を開いたり閉じたりする蓋体とを備えて構成されている。そして化粧料容器の外観をなすこれら容器本体や蓋体に対しては、そのデザイン性を高めるために、従来からさまざまな方法によって加飾が施されている。例えば、スパッタリングなどによって表面処理を行ったり、転写シートを用いて文字や模様などを転写したり、あるいは模様などを付した上に透明・半透明の層を重ねたりするなどして、容器本体や蓋体に装飾を施すようにしていた。

【0003】

なお、本願出願人は、関連する先行出願として、特願2001-249000を出願している。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、従来の化粧料容器にあつては、製品としての化粧料容器を高級感溢れる高い品質で提供するという目的で、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、上記いずれの加飾方法にあつても、容器本体や蓋体に対し加飾部分が一体不可分となるように互いに分離不能に一体的に形成しなければならないという要請があつた。

【0005】

このような要請は反面、化粧料容器の外観が生産者の選定したデザインに限定されることを意味し、購買者が化粧料容器の意匠的外観を、好みに応じて自由に選べるようにすることを妨げていた。このため、購買者は気に入ったデザインの化粧料容器を見つけることができず、これが買い控えの一因になっていたと考えられる。

【0006】

50

(3)

JP 2004-135947 A 2004.5.13

本発明は上記従来の課題に鑑みて創案されたものであって、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な化粧容器を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明にかかる化粧料容器は、容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、これらを覆って交換可能に装着される交換用カバーと、上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、これら蓋体もしくは容器本体に該交換用カバーをスライド自在に係合させるスライド係合部と、上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、当該蓋体もしくは容器本体に該交換用カバーを保持させるために、これら両者を該交換用カバーのスライド方向に係脱自在に係止する係止部とを備えたことを特徴とする。これにより、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能となる。

【0008】

また、前記スライド係合部が、前記蓋体もしくは前記容器本体および前記交換用カバーのいずれか一方にスライド方向に沿って設けられた凹部と、いずれか他方に設けられて該凹部にスライド自在に挿入される凸部とを備え、前記係止部が、上記凹部内に弾性変形自在に設けられて上記凸部に係脱自在に係合する係止突起であることを特徴とする。凹部と凸部によって、蓋体もしくは容器本体と交換用カバーのスライド操作を案内することが可能で、安定した操作性を確保し得るとともに、係止突起の弾性変形によって、凸部の係脱操作の容易化を図り得る。

【0009】

さらに、前記凹部および前記凸部が、前記交換用カバーのスライド方向の適宜位置に設けられるとともに、上記凹部にはこれに上記凸部を挿入するための切り欠き部が設けられていることを特徴とする。スライド操作を案内する凹部内への凸部の挿入をスライド方向の適宜位置で行うことが可能となり、スライド操作量を短くできて、交換用カバーの脱着操作の簡便化を図り得る。

【0010】

【発明の実施の形態】

以下に、本発明にかかる化粧料容器の好適な実施形態を、添付図面を参照して詳細に説明する。本実施形態にかかる化粧料容器 1 は図 1～図 3 に示すように、取柄凹部 2 が形成された皿状の合成樹脂製容器本体 3 と、容器本体 3 の前後長さ方向後端にヒンジ 4 を介して上下方向へ回動自在に連結されて容器本体 3 を開閉するとともに、容器本体 3 の前端にフック 5 を介して係脱自在に係合されて当該容器本体 3 の閉止状態を維持する板体状の合成樹脂製の蓋体 6 と、蓋体 6 および容器本体 3 の少なくともいずれか一方、図示例にあっては蓋体 6 に着脱自在に装着され、交換可能に蓋体 6 を覆う板体状の合成樹脂製の交換用カバー 7 とから主に構成される。

【0011】

交換用カバー 7 の材質は合成樹脂製に限らず、金属製であってもよい。また、交換用カバー 7 は容器本体 3 を覆って設けられてもよく、また蓋体 6 および容器本体 3 の双方に設けられてもよい。図示例にあっては、これら容器本体 3、蓋体 6、並びに交換用カバー 7 は平面外形輪郭が矩形状に形成されているけれども、多角形状や円形状であってもよい。蓋体 6 の裏面には、鏡 8 が取り付けられている。

【0012】

フック 5 は、容器本体 3 の前端に形成された凹所 9 内に突設されたフック用突起 10 と、蓋体 6 の前端から垂下されてフック用突起 10 に係脱自在に係合されるフック片 11 とから構成される。またヒンジ 4 は、容器本体 3 の後端から一対突設されたヒンジ片 12 間に

(4)

JP 2004-135947 A 2004.5.13

、蓋体6の後端から垂下させたヒンジブロック13が挟み込まれ、これらヒンジブロック13からヒンジ片12にわたって、容器本体3の左右幅方向にヒンジピン14が挿入されることで構成される。

【0013】

交換用カバー7は、化粧料容器1、本実施形態にあっては蓋体6の意匠的外観を購買者が好みに応じて自由に選べるように、各種のさまざまな加飾が施されたものが用意されるようになっている。これら交換用カバー7に施される加飾部分は、部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、交換用カバー7に対し、一般周知の方法によって一体不可分に分離不能に一体的に形成される。交換用カバー7は、蓋体6の上にこれを覆って重ね合わせて装着される。図示例に従って説明すると、交換用カバー7は、後端を除いて、その周縁から蓋体6に向かって垂下させて垂下部15が形成されている。10

【0014】

他方、相当の厚さで板状に形成された蓋体6には、後端を除いて、その外周壁6a下端から水平方向外方へ突出させて、交換用カバー7の垂下部15が載置される鍔部16が形成される。また蓋体6の後端には、蓋体6の幅方向へ左右の鍔部16間にわたって、蓋体6の上面6bから上方へ突出する立て壁部17が形成され、この立て壁部17には交換用カバー7の後端が当接されるようになっている。同様にして、蓋体6前端の外周壁6aには、交換用カバー7前端の垂下部15が当接されるようになっている。

【0015】

このように構成された蓋体6と交換用カバー7との間には、蓋体6に交換用カバー7をスライド自在に係合させるスライド係合部が設けられる。スライド係合部は、蓋体6の幅方向左右の外周壁6aに、鍔部16とその直上に突出される底部18との間に挟み込むようにして、スライド方向である蓋体6の前後方向に沿って適宜長さで設けられた凹部19と、交換用カバー7の幅方向左右の垂下部15下端に内側にに向けて凹部19よりも短い長さで設けられ、凹部19にスライド自在に挿入される凸部20とから構成される。20

【0016】

本実施形態にあっては、これら凹部19および凸部20は蓋体6および交換用カバー7に対して、当該交換用カバー7のスライド方向の適宜位置に設けられる。図示例にあってはこれら凹部19および凸部20は、左右の各外周壁6aおよび各垂下部15の前端側および後端側に、互いに相当の距離を隔てて2箇所形成されているけれども、1箇所でも3箇所以上であっても良い。また、これら凹部19と凸部20とは、凸部20が凹部19から上下方向には抜脱不能に、角付けされた出隅と入隅の関係をもって上下方向に係合される。また、各凹部19には、当該凹部19に凸部20を挿脱自在に挿入するために、その前端側と蓋体6上面6bとを連通させる切り欠き部21が形成され、これにより凹部19は、切り欠き部21と一連にシ字状の凹陥部として形成される。従って、凸部20は切り欠き部21を介して凹部19内に挿入され、さらに底部18と鍔部16との間で凹部19内に蓋体6の前後方向にスライドされるようになっている。30

【0017】

さらに、蓋体6と交換用カバー7との間には、蓋体6に交換用カバー7を保持させるために、これら両者を交換用カバー7のスライド方向に係脱自在に係止する係止部が設けられる。本実施形態にあってはこの係止部は、凹部19内に弾性変形自在に設けられ、スライドして行く凸部20に係脱自在に係止する係止突起22から構成される。係止突起22は、底部18に切り欠き部21から蓋体6の後端側に向かって相当の長さでスリット23を形成することによって、上下方向に弾性変形可能に形成されたカンチレバー状の弾性片24と、この弾性片24の先端に下向きに形成された突起25とから構成される。40

【0018】

凹部19内に挿入された凸部20は、突起25を介して弾性片24を押し上げることで、当該突起25をスライド方向に乗り越えて係止されたり、離脱されるようになっている。図示例にあっては、係止突起22は、蓋体6の前端側の凹部19に設けられているけれども、後端側の凹部19に設けたり、また蓋体6の左右で前端側と後端側とに別々に設けて 50

(5)

JP 2004-135947 A 2004.5.13

もよく、さらにはすべての凹部 19 に設けてもよい。

【0019】

本実施形態にかかる化粧料容器 1 の作用について説明すると、化粧料容器 1 を購入した購買者が蓋体 6 に装着されている交換用カバー 7 を、他のデザインの新たな交換用カバー 7 に交換する際には、交換用カバー 7 を前方に向かってスライドさせる。交換用カバー 7 をスライドさせると、凸部 20 は係止突起 22 から離脱されて凹部 19 の前端に達するので、この状態で交換用カバー 7 を蓋体 6 から引き離せば、凸部 20 が切り欠き部 21 を介して凹部 19 から抜け出すことになり、これにより交換用カバー 7 を蓋体 6 から取り外すことができる。

【0020】

次いで、新たな交換用カバー 7 を蓋体 6 に装着する際には、凸部 20 を切り欠き部 21 に合わせた状態で交換用カバー 7 を蓋体 6 に重ね合わせるにより、凸部 20 を凹部 19 内に挿入し、その後交換用カバー 7 を後方に向かってスライドさせる。交換用カバー 7 をスライドさせると、凸部 20 は凹部 19 内をスライドして係止突起 22 を乗り越えて係止されることになり、これによって交換用カバー 7 の垂下部 15 が蓋体 6 の鍔部 16 上に載置された状態で、交換用カバー 7 の後端および垂下部 15 の前端が蓋体 6 の立て壁部 17 および外周壁 6a 前端に当接され、これにより交換用カバー 7 を蓋体 6 に重ね合わせて装着することができる。

【0021】

以上説明したように本実施形態にかかる化粧料容器 1 にあっては、蓋体 6 にこれを覆って交換可能に装着される交換用カバー 7 と、蓋体 6 と交換用カバー 7 との間に設けられ、蓋体 6 に交換用カバー 7 をスライド自在に係合させる、凹部 19 と凸部 20 とからなるスライド係合部と、蓋体 6 と交換用カバー 7 との間に設けられ、当該蓋体 6 に交換用カバー 7 を保持させるために、これら両者を交換用カバー 7 のスライド方向に係脱自在に係止する、係止突起 22 からなる係止部とを備えたので、交換用カバー 7 を交換することができる。化粧料容器 1 の外観が生産者の選定したデザインに限定されることがなく、化粧料容器 1 として、購買者が好みに応じて外観を自由度高く選ぶことができ、これにより購買意欲を高め得るものとすることができる。

【0022】

また交換用カバー 7 としては、従来の蓋体などと同様に、加飾部分を一体不可分に互いに分離不能に一体的に形成すればよく、従って加飾部分が交換用カバー 7 から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがなくて、製品としての化粧料容器 1 を、従来と遜色のない高級感溢れる高い品質で提供することができる。

【0023】

また主として、凹部 19 と凸部 20 とからなるスライド係合部のスライド操作のみで簡単に交換用カバー 7 の脱着操作を行うことができる。さらに、スライド係合部を、蓋体 6 にスライド方向に沿って設けられた凹部 19 と、交換用カバー 7 に設けられて凹部 19 にスライド自在に挿入される凸部 20 とを備えて構成し、また係止部を、凹部 19 内に弾性変形自在に設けられて凸部 20 に係脱自在に係合する弾性片 24 と突起 25 からなる係止突起 22 から構成したので、凹部 19 と凸部 20 によって、蓋体 6 と交換用カバー 7 のスライド操作を案内することができ、安定した操作性を確保することができるとともに、係止突起 22 の弾性変形によって、凸部 20 の係脱操作も容易化することができる。

【0024】

また、凹部 19 および凸部 20 を、交換用カバー 7 のスライド方向の適宜位置に設けるとともに、凹部 19 にはこれに凸部 20 を挿抜自在に挿入するための切り欠き部 21 を設けたので、スライド操作を案内する凹部 19 内への凸部 20 の挿入をスライド方向の適宜位置で行うことが可能となり、スライド操作量を短く設定することができ、交換用カバー 7 の脱着操作の簡便化を図ることができる。

【0025】

ところで、容器本体 3、蓋体 6、並びに交換用カバー 7 の平面外形輪郭を多角形状や円形

(6)

JP 2004-135947 A 2004.5.13

状とした場合には、例えば蓋体6の上面6もにスライド凹溝を形成するとともに、交換用カバー7から垂下させてスライド凸条を形成するなどしてスライド係合部を構成し、この凹溝や凸条に係止部を組み込むようにすればよい。

【0026】

上述した本実施形態にあっては、蓋体6に交換可能にこれを覆う交換用カバー7を着脱自在に設ける場合を例にとって説明したが、容器本体3に交換用カバー7を設ける場合には、容器本体3と交換用カバー7との間にスライド係合部や係止部を設けるようにし、この際、凹部19や係止突起22、切り欠き部21は、容器本体3もしくは交換用カバー7のいずれか一方に設ける一方で、凸部20は他方に設けるようにする。

【0027】

さらに、本実施形態にあっては、ヒンジ4やフック5を備えた化粧料容器1を例示して説明したが、これに限らず、容器本体3に対してネジ構造や怪嵌合構造によって蓋体6を着脱するタイプの各種容器に適用してもよいことはもちろんである。

【0028】

【発明の効果】

以上要するに、本発明にかかる化粧料容器にあっては、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明にかかる化粧料容器の好適な一実施形態を示す側断面図である。

【図2】図1の化粧料容器の蓋体の一部破断分解斜視図である。

【図3】図1の化粧料容器の一部正面断面図である。

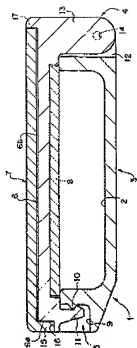
【符号の説明】

- | | |
|----------|----------|
| 1 化粧料容器 | 3 容器本体 |
| 6 蓋体 | 7 交換用カバー |
| 19 凹部 | 20 凸部 |
| 21 切り欠き部 | 22 係止突起 |

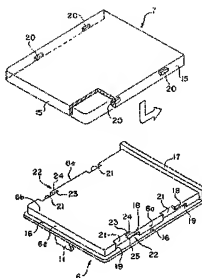
(7)

JP 2004-135947 A 2004.5.13

【図 1】



【図 2】



【図 3】

